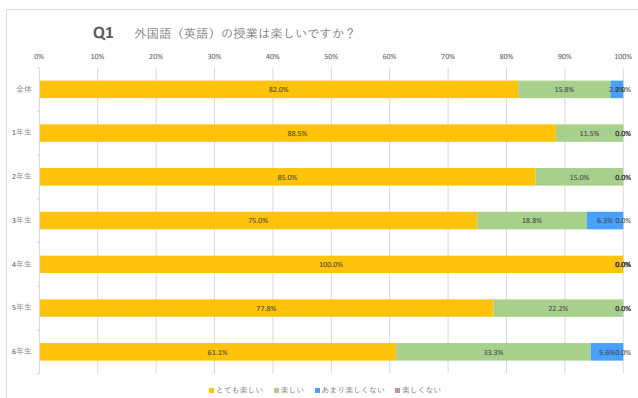


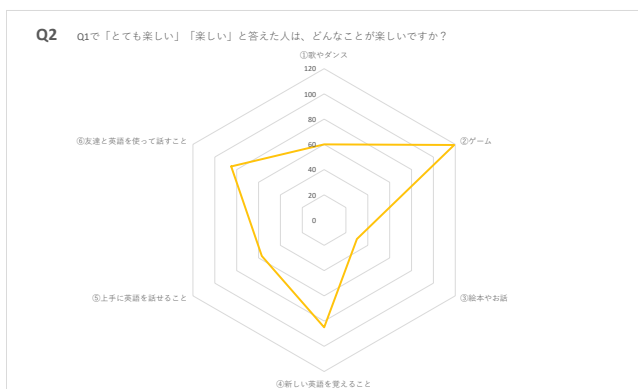
外国語（英語）の授業に関する児童用アンケート調査結果



Q1集計について

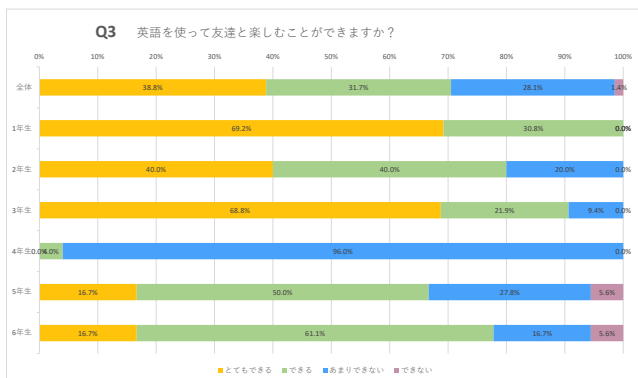
約97%の児童が外国語(英語)の授業は楽しいと答えている。高学年では、中学校での英語の授業に向けて正確に単語の読み書きをしないとイケないため、英語の授業が楽しくないと答える児童の割合が、やや増えている傾向にある。

そこで、楽しんで文字を読んだり、書いたりするように工夫していきたい。



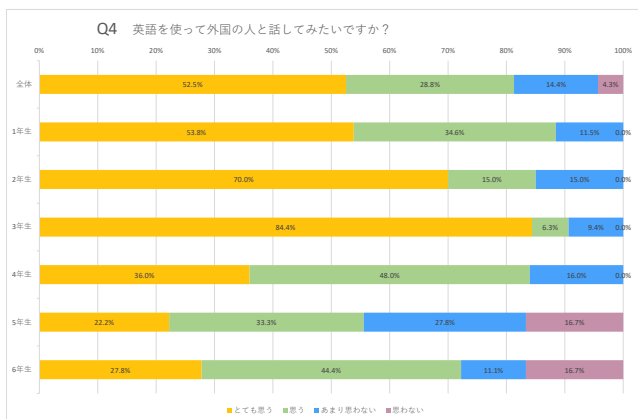
Q2集計について（複数回答）

楽しいと思う活動は、「ゲーム」が大多数を占め、「新しい英語を覚えること」、「友達と英語を使って話すこと」、「歌やダンス」と続いている。また、「上手に英語を話せること」については、上手にという言葉があるためチェックするのを躊躇した児童が多いのではないと思われる。授業では、間違いを恐れず発表する児童も多く見られる。一方、「絵本やお話」は、授業で取り入れる時間や機会が少ないため、今後もっと効率よく取り入れていかなければいけないと思う。



Q3集計について

約70%の児童が「英語を使って友達と楽しむことができます」と答えている。休み時間など、外国語(英語)の授業でない時間でも、学習した英語を使って友達とコミュニケーションをとる児童の姿も時々見られる。特に高学年では学習した英語を使って友達と関わろうとする姿も見られるが、英語を使うのに精一杯で、楽しむという段階までには到達していない。



Q4集計について

約83%の児童が、英語を使って外国の人と話してみたいと思っている。今年度から週1～2回、ALT(外国人の先生)が来校するようになり、担任の先生に「英語でどのように言いますか？」と確認し、ALTに英語で話しかける児童が多く見られる。知っている英語を使って自分から話しかけようと、積極的に英語を使おうとする場面がよく見られる。高学年になると、間違いを恐れ、自分から話しかけることを躊躇する児童もいるが、ALTとのコミュニケーションにはとても興味関心を持っている児童が多い。

○保護者・学校関係者より

- ・英語は、これからの時代に必要なものだから、低学年の早い段階から学ぶ機会があるのはありがたい。
- ・英語の授業以外でも、クラスルームイングリッシュが活用されており、子どもたちが英会話を楽しむ雰囲気が見られる。